

# アット東京 中央第2センター

## 建物諸元(2021年12月現在)

所在	東京都江東区
主用途	データセンター
敷地面積	16,097 m <sup>2</sup>
延床面積	41,319 m <sup>2</sup>
階数	地上11階
竣工年月	2012年5月
事業者・所有者	株式会社 アット東京
URL	<a href="http://www.attokyo.co.jp/">http://www.attokyo.co.jp/</a>

## 主な評価項目

### I 一般管理事項

・自社所有の全センター合同で毎月CO<sub>2</sub>削減推進会議を行い、省エネの立案・実施・検証についてセンター間で情報共有・意見交換を実施

### II 建物、設備性能に関する事項

・高効率熱源、空調機器、電気設備、照明設備の導入  
・フリークーリング・大温度差送水システム導入

### III 運用に関する事項

・DCIM(データ・センター・インフラストラクチャ・マネジメントシステム)の活用により、きめ細やかなエネルギー分析を実施し、効率的な設備運用を実施

## 事業所の概要

アット東京のデータセンターは、

- ・信頼性の高い電源供給
- ・省エネに適した熱源設備
- ・耐震性に優れた施設
- ・高速大容量接続に適した光ファイバーネットワーク

などのインフラ面でのメリットとともに、お客さまのニーズに合わせた多彩なサービス、幅広い設備運用技術を活用した24時間365日の安定稼働による、最高水準の環境を提供しています。

中央第2センターは、2016年に初めて認定された後も、信頼度を確保した効率的な設備運用を続け、今回2度目の認定となりました。

その間、フリークーリング用の熱交換器の増容量等を行い、さらなるPUEの向上を達成しました。

## 事業所における環境負荷低減の取組

中央第2センターは、アット東京が他のデータセンターにて蓄積したノウハウを基に、構築・運用する事で優れた省エネルギー性能を実現し、CO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献しています。

更に自社で開発したDCIM(データ・センター・インフラストラクチャ・マネジメントシステム)により、建物の省エネルギー性能、エネルギー消費等の監視・管理をリアルタイムで可能としました。

これにより効率的かつきめ細やかな熱源・空調設備の運用及びエネルギー分析を可能となりました。

### 【主な省エネ対策】

- ・高温冷水(15℃)による冷凍機の高効率運転
- ・高効率機器の導入(熱源、空調設備、UPS、照明等)
- ・高温冷水供給によるフリークーリング有効期間の拡張
- ・熱源・空調設備のインバータ制御による高効率運転
- ・タスク空調の採用
- ・ホットアイルコンテイメントの導入
- ・太陽光発電設備の導入
- ・照明の人感センサー・タイムスケジュール制御の導入
- ・DCIMの導入によるエネルギー管理のリアルタイム監視
- ・BEMS、DCIMを活用した運転解析の実施
- ・共用部空調機の設定温度緩和

## 事業所外観写真



## 取組のイメージ図

### ■DCIMによるエネルギー効率監視画面(イメージ)

